



誌上講演会

アーバンキャンパスと地域貢献

— LIFE LIGHT LOVEの大学として —

学校法人 東北学院 院長
東北学院大学 学長



大西 晴樹氏

おおいし・はるき

プロフィール

1953年3月10日生まれ、北海道出身。1975年、法政大学卒業。明治大学大学院政治経済学研究所修了、神奈川大学大学院経済学研究所単位取得修了。明治学院大学において35年間にわたって教壇に立ち、明治学院大学学長、学校法人明治学院院長を経て、2019年、東北学院大学学長、2020年、学校法人東北学院院長に就任。

※本記事は、2023年2月21日に当所主催で開催した支店長交流会における講演の内容を要約したものです。

都心型ワンキャンパスが生み出すメリット

この春、東北学院大学の新しいキャンパスが若林区五橋の仙台市立病院跡地に誕生します。この場所に、1962年に開設した多賀城キャンパス（多賀城市）と、1988年に開設した泉キャンパス（泉区天神沢）を集約し、土樋キャンパスと一体型の運営を行う「アーバンキャンパス」として新たなスタートを切ります。

構成されています。これらの2階部分をうまくことで、学生同士のコミュニケーションの輪を広げる回遊動線をつくり出します。本学ではこれを「TGUリング」と称して、文理の壁を超えて、学生間での対話や交流の場とすることで生まれる相乗効果を期待しています（図1参照）。

キャンパスの場所は仙台駅から徒歩約15分、地下鉄南北線五橋駅に直結している。これまで、仙台駅から各キャンパスへの通学に要していた時間と比較すると、通いやすさが格段に向上しました。これにより、通学圏が拡大し、今年の入学試験では、隣県からの受験生も増加し、4月から約1万1000人の学生が都心のキャンパス

文理横断によって育むデータサイエンス人材

今回の五橋キャンパスの新設をきっかけに、「地域総合学部」「情報学部」「人間科学部」「国際学部」の四つの学部、「地域コミュニケーション学科」「政策デザイン学科」

ンパスに集結することになります。交通の便を気にせずに勉強や研究、サークル活動に集中でき、アルバイト先にもアクセスしやすいことが、学生たちの日常と将来にとつて、大きなメリットになるはず。また、家賃を抑えた学生寮も整備しましたので、これらの要素が時間的・経済的余裕を生むことにつながると考えています。

したり、社会人の学び直しのプログラムなどの提供も行っています。

本学の強みは、「地域に根ざした大学」という点にあると考えています。卒業生の半数が地元に残り、現在、同窓生は20万人を数えています。また、県内企業の社長を最も多く輩出している大学でもあり、さらには95.4%という高い就職率を誇っています。

本学には、語り継がれている、「LIFE LIGHT LOVE」というスローモーターがあります。LIFEは、命を大切に教育と研究を通して、少子化の時代においてキリスト教教育を土台に、ともに生きること、豊かな地域をつくることのできる人間を育成すること。

LIGHTは、教育と研究の成果で地域を照らすことを目指しています。特に、少子化が顕著でデジタル化が遅れている東北地方において、学びの成果によって人びとに希望を与える人間を育成すること。そしてLOVEは、隣人愛の教育と研究によつて、自分を愛するだけでなく、隣人を愛することのできる人間を育成することを表しています。このスクールモ

ットーを軸にした大学として、地域貢献に力を注いでいきたいと考えており、4月から新たな伝統を刻んでいく東北学院にご支援をいただきながら、ともに仙台・宮城・東北の未来を担っていきましょう。



新キャンパスの外観

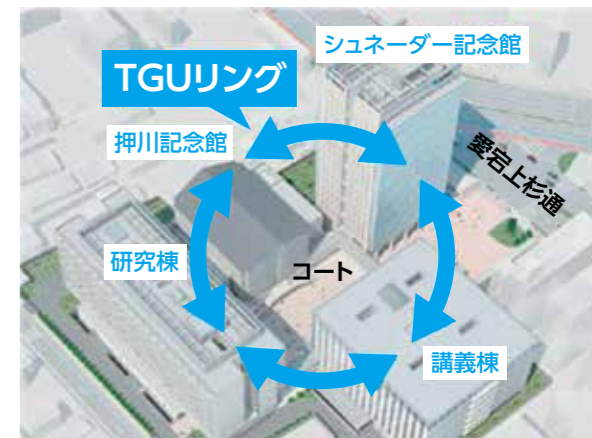


図1.TGUリングがつなぐ回遊動線の図

3キャンパスに分かれていた研究員約300人が集まり、社会課題の解決にあたる。また、その成果を教育につなげていくことで、社会課題解決への探求心を持つ人材の輩出を目指している。

ず、全学で活用していくデータサイエンス研究所をキャンパス内に開設しました。さらに、本学は2022年度、文部科学省の「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」に選定され、経済学研究科の新しい取り組みとして推進していくことになりました。そこで、経済学研究科に、経済データサイエンスコースを新設し、高度専門人材を地域で育成することを一つの目標としました。データを処理・分析して活用し、新しい価値を創造するデータサイエンスと、経済学による最適化を目指していきます（図2参照）。

地元根ざした大学として地域貢献に注力

次に、本学の地域連携についてお話します。本学では、以前より地域共生推進機構や3年前に立ち上げた地域連携センターを拠点に、地域連携活動を進めてきました。そして今回、シユネーダー記念館の1階に新設される「未来の扉」センターを、地域の皆さまと本学の学生や教員が交流をする場として活用したいと考えています。

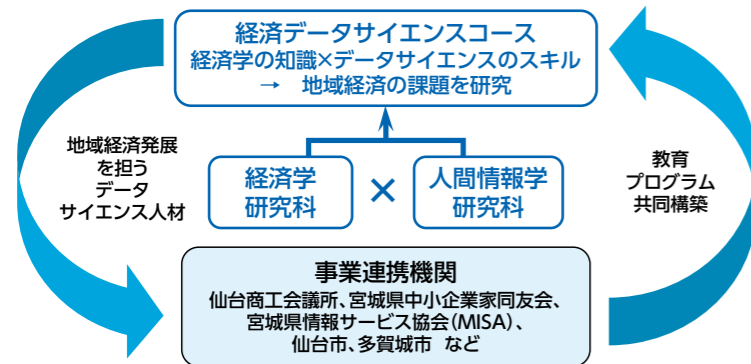


図2.経済データサイエンスコースのイメージ図

修士号として、経済データサイエンスコースを新設することで、地元企業や自治体の社会人向けのリカレント教育の場としての役割も期待されている。

地域連携センターは、現在、宮城県や仙台市、仙台商工会議所などを事業協働機関として、「みやぎ・せんだい地域人材育成協働事業プラットフォーム」という事業を進めています。これは高等教育機関と地方自治体、地域経済界が連携しながら、人材育成に関わる地域の課題解決に協働で取り組むもので、地元宮城で魅力的な事業を展開する企業を紹介する「みやぎの企業発見プログラム」というキャリア教育なども行っています。このほか、荒町商店街の仙台七夕まつりや、荒町地区子まもりハロウィンに学生がボランティアとして参加する機会をつくり、サポートしてきました。このような活動は、多賀城市や気仙沼市、岩手県宮古市にまで範囲を広げています。さらに、大学のブランドグッズを企業と開発

飛翔 経営者・事業所に確実に届く! **ビジネス情報便**

「飛翔」チラシ封入サービス

約9,500社にお届けする仙台商工会議所月報「飛翔」に貴社の広告チラシを同封して配送するサービス「ビジネス情報便」。市内の経営者や、事業所向けに販売拡大等をお考えの方には最適なツールですので、ぜひご利用ください。

会員価格 (A4チラシ1枚): **187,000円** (税込)

※チラシ内容については事前の審査があります。

お問い合わせ 仙台商工会議所 総務広報グループ TEL022-265-8182

こんなメリットが!

- 「経営者」や「事業所向け」といったターゲットを絞った販売促進等に最適
- 単独DMに比べて「開封率」が高い
- DMに比べて低コストで高い効果が期待できる

詳細はこちら▶